



GREEN LETTER

グリーンレター

Vol. 281

2020/7/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

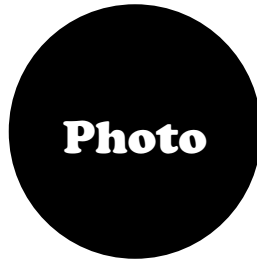
GREEN COLUMN

01. エゾホトケドジョウの魚道

02. 美幌町にくる海鳥たち



今月の一枚



「か弱き王者」

表紙写真・文／町田善康

川岸の静かな流れ。そこに数センチの小さな魚が泳いでいました。近づくと草陰に隠れ、しばらく動かないでジッとしています。大きくなると 1m を越える川の王者イトウも、生まれたばかりは、こんなにも小さく、か弱い姿をしています。

しかし顔つきは、もう立派なイトウ。流れてくる虫などを食べて、どんどん大きくなっていきます。このイトウの稚魚も、数年経てば立派な川の王者になることでしょう。

Event. 今月のイベント

特別展「写真家 前川貴行の生き物バンザイ！」 ～10月25日(日)

夏だ！昆虫グッズ！無料レンタル 7月1日(水)～8月30日(日)

博物館講座(歴史編)「縄文土器を作ってみよう」 7月4(土), 8月1日(土)

北海道みんなの日「無料開館」 7月17日(金)

プチ工房「プラ板のアクセサリー」 7月24日(金), 25日(土)

Information. 参加者募集

夏だ！昆虫グッズ！無料レンタル

●7/1(日)～8/31(金) 9:30 - 17:00 ●美幌博物館 1F 受付 ●無料 ●受付で名前と連絡先を記入すること。

プチ工房「プラ板のアクセサリー」

●7/24(金), 25(土) ①10:00 開始, ②11:00 開始, ③14:00 開始, ④15:00 開始 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費(300円), マスク ●八重柏誠(美幌博物館) ●美幌博物館へ電話申込み(7/1-7/23)。小学3年生以下は保護者の同伴が必要。各回定員6名で締切。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、発熱がある、あるいは体調が優れない方のご参加は、お控えください。各イベントは、内容の変更や中止となる場合がございます。また、状況により、一時休館となることもございます。事前にお電話でお問い合わせの上、ご参加ください。

今月の休館日

6日, 13日
20日, 27日

〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用, 持ち物 ●講師 ●申込み方法

01 GREEN COLUMN グリーンコラム

エゾホトケドジョウ の魚道

写真・文／町田善康



これまで、サケの仲間を対象に、手作り魚道を設置してきました。この魚道は非常に大きな効果を上げており、魚が全くいなくなっていた川に、再び魚たちが帰ってくるようになりました。

一方、エゾホトケドジョウやヤチウグイなどの、小さな魚たちを対象にした魚道はありませんでした。現在、彼らは川沿いにある小さな沼などに取残され、移動ができない状態になっています。本来、これらの魚は、川の増水などをキッカケに沼と沼がつながることで移動し、交流をしていました。しかし、現在は沼同士の魚の交流はなく、近親交配が進んでいることがわかっています。

そこで、今度はこれらの魚たちの移動を可能にすべく、手作り魚道にチャレンジすることになりました。香川高等専門学校の高橋直己先生にご協力い

ただき、安価（高くても2-3万円）で、持ち運べるポータブルドジョウ魚道を製作します。

これまで高橋先生は、本州で魚道設置に携わっており、アユの稚魚や、メダカなどの小さな魚たちの移動を可能にしています。今回も、高橋先生が培った技術を使い、超簡易型ポータブル魚道をつくります。今年は、エゾホトケドジョウやヤチウグイが魚道を遡上（そじょう）するのか、室内実験を行います。

今後、ポータブル魚道は、新しい魚道づくりの取り組みとして、大きな注目を集めることは間違いありません。

美幌町にくる 海鳥たち

写真／千嶋淳氏・文／城坂結実



海がない美幌町にも、海鳥がやってきます。ここで海鳥とは、繁殖期以外を海や海岸で過ごし、海を生活の中心または、一部として利用する鳥を指します。海鳥といえども、卵を産み育てるのは陸地。そのためでしょうか、美幌町でもこれまで数種類の海鳥が確認されています(詳しくは、美幌博物館研究報告 第21号をご覧ください)。

そんな美幌町の海鳥を紹介するロビー展が、8月1日(土)～11月29日(日)に美幌博物館で開催されます。会期は4ヶ月ありますが、同時開催のスタンプラリーでは、先着3000名様にオリジナルの海鳥クリアファイルをプレゼントする企画もありますので、ぜひお早めにご来館ください。

このロビー展では、もう1つの目玉としてオホーツク海にやってくるアホ

ウドリ類を紹介します。鳥に疎い私でも、写真を見て「キレイだなあ」と感嘆してしまうアホウドリ(写真)。翼を広げると、2メートルほどにもなるアホウドリが空を飛ぶ姿の美しさは、いかほどでしょうか。ロビー展では本物…とはいきませんが、デコイとよばれる実物大模型を展示します。間近でアホウドリの大きさを体感してみてください。

また8月22日(土)には、関連講座として博物館講座「美幌の海鳥とオホーツクのアホウドリ」と題した講演会を開催します。先日、講師の先生から「一生のうち一度も陸に足をつけない鳥は？」というナゾナゾを出されました。みなさんもよくご存知の鳥だと思いますが、さてなんでしょう。

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実・久保田結衣

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253-4

Tel / 0152 (72) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/bunya/museum/>

無断掲載・転載を禁ずる

学芸員のつぶやき



.....
愛犬と美幌町内のあちこちを散歩しています。歩いていると、こんなところにこんな植物があったんだ！と気がつかされることも。お犬様様です。(城坂)